



梅化真言卷上

目錄

- 一傷寒 二感冒 五丁 三瘡癩 五丁  
四癆病 八丁 九泄泻 土 六咳嗽 十四  
七水腫 十七 八積聚 土二 九腹滿 七七  
十呴吐歸塗及留 土一  
十一脚氣 六八 十三淋病 二  
十五頭痛頭風 二十六瘧疾 五二  
十八心氣 二  
十九毒飲 六八  
二十喘急 二十一

十一

督憲軍人頭痛の項脊コヘリ腰膝イクスヘ立行身久  
ノリナク腰注取ノハセシ動モ有ニシ儀寒ノ表熱トス  
熱渴渴寒紫ソサ外麻十高根十貴人蕉エ  
身中・寒多入道メ葉ラアソクノ類・各セテ物ヲ  
風ヲナマセテ就寝し瓊春スク膝胫トシニ熱熱ノ汗自止  
之極心腹後も毫末傷風ノ表証ト云々解熱トシ  
解熱湯・肉桂十芍藥十葛根十甘草十白芍十  
一卷身中止此物・當子也哉ナシ・煎メヨリ可ヒ

二日ノ朝、寒千衣脱ヒテ浴ヒテ、因寒症癪有リ。發熱  
ナシナカニシトキモ、小便黄、キルハ半衣半纏ノ如キ  
又熱氣入リ蒸シト登熱シ小便赤状スルハ半衣半纏  
如前様、而ヒ 蓋オ着スル事、其ナカニ

四日ノ朝、汗ナ 淩ク 程ニ入リ、寒寒ヤヒカ一ノ子志地ノ照下  
ハシタリ。水ケ小便黄、大便結セハ裏熱トニテナ

ノ 紫胡湯 等用ナ 室ナ 有ナ 事ナ

第六回、薦ノヨリカシニ、固アヒテ、悉スレレヒトサギテ  
二日ノ朝、寒千衣脱ヒテ浴ヒテ、因寒症癪有リ。發熱ナシナカニシトキモ、小便黄、キルハ半衣半纏ノ如キ

又熱氣入リ蒸シト登熱シ小便赤状スルハ半衣半纏  
如前様、而ヒ 蓋オ着スル事、其ナカニ

六日ノ朝、寒千衣脱ヒテ浴ヒテ、因寒症癪有リ。發熱ナシナカニシトキモ、小便黄、キルハ半衣半纏ノ如キ

又熱氣入リ蒸シト登熱シ小便赤状スルハ半衣半纏  
如前様、而ヒ 蓋オ着スル事、其ナカニ

第七回、寒千衣脱ヒテ浴ヒテ、因寒症癪有リ。發熱ナシナカニシトキモ、小便黄、キルハ半衣半纏ノ如キ

又熱氣入リ蒸シト登熱シ小便赤状スルハ半衣半纏  
如前様、而ヒ 蓋オ着スル事、其ナカニ

第八回、寒千衣脱ヒテ浴ヒテ、因寒症癪有リ。發熱ナシナカニシトキモ、小便黄、キルハ半衣半纏ノ如キ

又熱氣入リ蒸シト登熱シ小便赤状スルハ半衣半纏  
如前様、而ヒ 蓋オ着スル事、其ナカニ

食ニヤスシガハ吉ニテクコトアリ人ノ腰ノ筋百筋

津生フイニモキモルノ久ラヤミシ人ノ熱ノ腰ニヨシ

百筋散風ヲ引取點口ト薑ニ其ナカ高根根莖通ナバ

童ナ外ノノ・室ニ虎ナ志薑ナヨ

笨胡湯一物ヨシ笨胡ニ半支ナ薑末ナ壳ナセ

麥冬ニ空大棗ニ蘇葉汗アツハ升ナフ知吐道ア

火薑白芍花地黃葛根ハ虎笨胡リニエ

三黃丸細辛兩兩ハ浮心同笨胡ニ室ニ室ナ

平支ニ赤芍ニ虎ニ右九ノ角す

笨胡湯ニウスリナノシ胸脇ナシ不張咽々ハ半肢ナリ

小便少ナリ痛レシハアシニ曲面ノ時ナリコドモ達ニ失算

桑白皮ナリ笨胡ニ平支ニ室ナ人手ニ辛ナ

赤芍ニ桑白ニ右薑シ用

大承鉢湯西環ニシ腰レムヘシ胸塞ニ太便ノシ腰ニ

小陷え湯丸ナニ赤芍ニ室ニ半支ナ若薑シ用キ

空ナ也研ナ車ニ右薑用ナリ別本主草朴ナリ甘無レ

葛平湯實空皆姜末ニ草白升ナ

赤芍加味丸

津傷寒ノ行ナシ寒寒脉浮寒氣痛項背コトク發想  
寒風湯 吉ヘ別是アリ  
津傷風ノ行ナリ寒風脉浮緩力ナシ臍痛通スハク發想  
寒湯湯 寒空ニ加取痛命根脉半裏ノハシ不收聲也行  
中寒脉急ノカアリ留頭命根脉半裏ノハシ不收聲也行  
解肌湯 一束治參アリ

中寒脉急ノ數々腰脇腹痛耳聾々寒氣寒熱ノ既テ  
小柴胡湯 無調火者本ナリ陽江津傷寒トニ桃襄又  
多葛根生津火者本ナリ桃襄又

沉脉沉數ノ力亢ニ當ノ本ナリ陽江津傷寒トニ桃襄又  
寒寒頭痛コトミク陰ナ及テ惡寒ニ衣アツキイナラ  
アツ足ヲ施誦ナラモ物ノ乞イロ大半咽火ナリ大  
便通火 大柴胡湯リ三承平湯ナリ大柴胡方治參  
多葛根生津火者本ナリ桃襄又

沉脉沉遲ノカヨシ陰經ノ傷寒トニ外証ハ地シ不消支  
理十湯ナリ通火ナリ

桂枝湯 桂枝火南半桂枝茶草ナリ桂枝茶  
肉桂火草火桂枝茶草火桂枝茶草火桂枝茶草火桂枝茶

正陽氣傷寒之傳

一 黃連水ノ正陽毒用

一 白散傷寒全熱ノ時始終用ヘシ古ニ留傳アリ  
一 健康ノ者ノ脉ノ浮中沉表裡ノ拘ルヘキス脉ノ力十アラ  
ハセリ 葵胡湯ヘシナ種類ヲヤヌ加ムナ健康ヘシ時此  
寫丹ヲ用ヒシ又ハ玉丹ヘナ四十五日ノミドノ上口

一 傷風ノ者ヲハ取シテカツトハ毛薄レーナアタハ  
ナニシ行止ナラハ出テモ熱ナシナリサナキナハ 毛薄ヘ管研  
ナニシ水煎薑茶ナトフ如ヘテナニシ  
一 健康ノ者ノ色ノ攝取シテ指アリ直其色を拘ルヘキス

人方ハ熱ノムナシニ黒色指アリシ物アシ本病ノ證也真  
正草ノ用ノ事也此ノ脉ヘ出テ身ノ中ノ火氣也三十日  
一 海底散ノ更の傳也此辰破ノ奉學ノ脉也海底散ノ  
風ノ利クニ度日ハスハナタリ 痘瘡シ岐シ而赤色  
ヨリ鳴イタム

一 人少湯 ヨリ更ナ 葛根 大黃 竹茹 等ソナ雀子  
本ク 火候ノ各セ少行出ニ二三日モ未便通也  
清心湯 宜ホ木薑ナ葵胡ナ奴ナ虎ナ等ナ

不寒而熱トシハ只怪リ傷寒ナリ皆人間引咳氣ナ  
スルレニナリ 治ハ起居一チアノシテ行ラムセハ  
熱氣ナムル物ナリ未証ハ傷寒ノロク相ナシ例ナシ

一白散ヲ用ナヨシ古ハ別录ニアリ

### 三瘡病

瘡ト博寒ナシトモレキ皆見ソコナフ傷寒ハ乳癰瘡  
ノ身イタニ亦寒ク脈モハマク朝サノスルト云ニ脉ノ動數  
ノ同じ物く瘡ハえアロサムク次第ノ全體ノ後詫病ノ咽寒  
アソヒシ脉往ノ動數アリ朝トク脈ノシヘ動數ミ十退ナ  
ナ大怪シノモ也然則詫病發熱ノシヒツイシニ當度  
瘡ハ瑞寒ニ走ムカナスナムテノ輒ラトレスナア病名  
ツカキニアシ

丸ノ圓脉弦ナラワク寒瘡ナルヲハ肝ノ風瘡也ニテ紫部

赤足指トヌリシナリ

赤

清肺湯 紫ニ西オ堇ナ高根ナ赤萬ナ朴人耳生

右ノ圓脉弦ナラワク寒瘡ナムノ肝ノ食積ト心經熱奈モ  
太指ナシ

赤

清肺湯 赤萬ナ葛根 朴人耳

汗ナナシセドリハ洋人或ニヤク外治セヨ

赤

金行多士ルナハ行テよムレ

赤

葛根牛皮

赤

白本

脚ノ医者、治ノ久ク愈スノ後勿汗土ラ便ヲ内熱也

咽ウカニカサニ

ニシテ内虚如同

白本

行レマリナル無次第、本腰スルナリ肉球サヌク次第

腰子物ノカツセトアリ

赤白病ニヨリ、茎太ノミ、茎通ノ大、赤茎太、赤白病ニヨリ

本通

本通ナリ、車ナリ、病アラムナリナム

久クナキテノ瘧也、望室ニ本通ナリナ、夢狂不汗也、  
ナリナリナフラウル又ハアルイモリモリ

活矣

一 痘ノ癆ハ根ニアリ先風十寒ヨリ起リ、又食温ニテラ

一 首乱ヨリ起ル物ハ崇ナリモニヨクウツセ事候。テモ  
ケム攝々アリ。日あ、起ルハ落トヨリ同葉クナシナ用シ  
一日ヤセハ落ヤスし二日ヤタナハ落カニ元程ニ是アリシ事

一 高燒也、フヤヘ、浮蓋ノ用ナ甚後又清脾ナシト

外ハ九ノ粒十罗種十一、姜スレシテ之用シ

一 然シケタハ黃胡湯ヲ用茎ハ傷寒也アシテナシ叶

一 些少ナリタ熱ナガリ汗多大茎忘海湯ヲ用コ

活矣

其處ナリ

杜心

未分

白本

坊主

亦

一 毒氣湯 生姜 耳ナ 右薑用是火用ヨリ

一 雷丸 桂皮 姜黃シ用 雷丸用ナ

一 蓼子ノ吹膚ヨリ人ノ春酒ト人ノ貴 芦桔  
全令 本草 宿 耳ナ 生心 老薑用是火用

一 滴眼湯 一切の瘡、胞莖ナリアマヌ用 売草根朴

白本 草莖 紅胡 益母 茎大蟲 附己夏  
人ノ貴 老薑用 一切の瘡ヨリ 滴眼湯ナリ木子人

一 七宝丸 ヨクヤニ用 常山 朴青 貴 兵子  
芦莖 丹子 乌參 右藥用 胡子子高ニシカヒヨリ

一 醉金剛 一切の瘡ヨリ原酸ナ 寄使 常山 皂梅  
人リス、波澤、阿魏、胡糞、石九ノ常山、蘿用

一 久清腸湯 水用

一 拘瘞散 一切の瘡、白レ土色、宿根擦高 天蓼マニ福

川柳ナリス、白レ鐵莖ナ 右粉メ茶アノハカリクヨル 朝

ア湯ナリス入牛ゼノ根ヲスク酒、テテアモアノ生  
物用後、酒ヲ多呑ミテ

一 嘴瘡大蟲ノ病ナリ細ルタニ故、虫カツウナリ

一 キリ葉 元人ノ薦ノ玉焼 阿魏ニ石硝ノニ孫ノ足辛  
、九ノ常山ノ入タル薑葉集ニナツシ日ノ知ノ刻ニ乾ニ高  
テ五枚斗ウ者ヘ

一 キリ葉 天蓋 生モニハ醜苦ホトヘ松子常山

熟葉

用

味

香

氣

味

香

氣

一 玉丹ナドノ空丹ヲ用又玉丹ヲ常山ノ汁ヲ用ヨ

一 丹ス九ノ丹茶 醤豆ニミテ玉ノ〇星子トニ九ノ丹ヲ  
衣トス三粒ヲ用心刺ズル叶リ

一 二日ヲタノ薑ハラナモニウチシホゾ酒ヲ用ヒテ之

一 腹痛病用 茶ニシテ玉丹ヲ用ヒテ之

飲食ニヤマラシ做・服中イタリ赤ノレホリ限ナクシケテ

先備急用ノ糞難カ五十粒ノ茶・ナ合セテ相向考湯浴看セ  
ハラキ取テ心カクニナシナシムト等ノ度モ速則病止

一 腹痛病用 茶ニヤマラシ做・服中イタリ赤ノレホリ限ナクシケテ

飲食ニヤマラシ做・服中イタリ赤ノレホリ限ナクシケテ

行ナシキノ夫便ハ空ヨメ右ノ脉ト力者ノ虎動歌モ有病ハ

ラサニテ心カクニナシナシムト等ノ度モ速則病止

ハラキ取テ心カクニナシナシムト等ノ度モ速則病止

内門冬十葛根雀脰腰丸人朴佳  
經寒後重ノ心アス血崩子奴  
麻陳寒瘧藥本通黃連赤茶叱吐  
降度利水加子入赤茶培白本耳  
石マトノヨリニ汗子五七日モ治メ病ノ弊元谷ラキ腰

建脾散葛根桔梗赤茶大黃十耳叶

在此九散チソロミトノテ莫ニコラバヨシモシトヨ

リテシオノ大便結ノトワクハ寛腸丸ウガ粒モサニ  
合ヒテ腹痛を止メ食ヒ腹痛を食後、タヒモ用シ

若セ皆ハアレニ中坐ニモ浴リ腰サヒモ力ナヒ腰脇又

イクヒギリ不食ノ日夜、六七十度汗行ヒ汗引散傳

調十湯章十全十白本十白芍十朴十草茶共

心多、ナゾロム、養生ノ次第、體氣アフニテリモ

一頭中陽人十十貴十芒柏十赤茶大黃十耳

ノ益脾トサル胡十葛芩大黃の根皮、麥芽十赤茶

麦芽十桂枝十白芍十甘草十建脾シチトラモシ  
文二聖圓用ヘレ、苦酒、苦味、二味ヲ等分、末

丸スルナリ  
老人虚人小覧して久病レシテノロウナレ 刑ヲ下レサ  
レ病モナク不食シテ脉伏ハ沈微或ハ強憲ノ大臣ニ事ナサ  
久キセキトキト健所ノヨリイスルハ无ヌ

活套

一 食ノ制禁ルノ説ハ脾田ノ弱ニカク飲食ラ多シナリ  
歎有アマリ嘔ノ聞ヘトセリ化レ眞心ノ血ヲヤフリテ下ル  
寒風寒暑温、アタリ熱ニヤアヒシ血ヲ下ヌナリ先  
備急用ヲ用ナサフリト下ノ御ナサシテニシテトメヨ  
自前ハ命ニ赤リハ大地ニ草木ノ田ムヘキナス解説細ト  
活套

一 禁食アレ位中病下リ苦クリアラム 深下ノ生ホラ用ナシ  
一 桑湯ウツメ各モチカヒスルノロ傳ナリ 痛ナリ

一 畏後 養胃一 貢 先 薦連 車ナ 看根・參

支茶 兵即子 白茶 名セシ用ヨ

一 達解丸 桃 姜 茶 無 耳 朴 人 乳 薑 茶

右丸ノ用ノ 肾平養身茶作味也

一 脾ノ色ホソコハナラルタレミゾノ様ニ又ハ人主ニ之付  
丁先サマシテ用ナヨレ口傳ナリ 宜此虎皮茶事

右丸ノ用ノ 肾平養身茶作味也

白本高樓道

卷之二

一其後行芳草有柏

卷之三

無事に生む。右足を用レハ血トマルナリ。夜モセヨリ

腰下ルナト御クク  
御子 紫紫車 桂桂  
金木 鶴根 茶船 兵衛士 上毛皮 河豚又葉  
名斐 紫之助 甚後丸等 用日

一樹ハ重サホ、又人畜リソ見ル間ニテ不ヨレド去前サホアラ  
テハ後申セナルトモ  
セシカシシキナカニ  
神仙カ守汝友モシ

和仲子字伯母

右圖書

聖國ノ立社牛之用ケトニシ莫更ノ事ナ

卷之三十一  
又草书大字  
寫畫物

道セヨ駿下ルハキナリ。寺主九ヨシ

一  
古今考略

内熱者、少火引導大熱す。玉丹、テ下、大寒ノ便。

卷之三

ナシモレ巴屋ト入ナル下レ用ヘカラス弱而人ア

一 丸茶ハ杏巴同 白毫九日シ 杏巴同ハ別録アリ  
白毫九日虎太 奉牛十 工ハハナ 赤巻ホ 大蛇ホ  
右丸ノ葛ノ粉ヲ表トス

一小兒ハ痢ニシマリ 痛音モ前下スアリ 大熱ナリ  
三葉・芭硝ヲ加テ 治ハムヨ

一大人・御者モ大熱ナリ中寒ノ事 三葉・芭硝

前本二種金散(新創トモリ)此ノ散モ久病ノ通路ナリ 腹痛ナリ 時日ナリ  
六日ナリおへし 桂心ナキ事ナク 腹心ナク 便ナク 命運ハ 薬持  
愚鷹ナキ身ナリ 断フモ 例王ナル 指甲ナレ用フサケル  
腹痛ナリ おへし 桂心ナキ事ナク 腹心ナク 便ナク 命運ハ 薬持  
愚鷹ナキ身ナリ 断フモ 例王ナル 指甲ナレ用フサケル

依ニ子ナキアタクアハ 調半湯 桂心ナキ 本通ヒ 奉牛太

費ナキナリ 本通ヒ 奉牛太

背瘡シ腰骨コリ 痘トク 一二度下入越ハ 便ニモアモモ便

一 カキシ腰中ノカノウムハ 奉牛太

一 肉末ナキナキアリ 金ナ

只ノ時ハアリ不丁ノ食変ヲ スレハ小腹ナシヤカテ 下ノハ

建半湯 ナキナリ 費ナキ白木ナキ青ナキ耳ナキ此ノ用テ何ト  
立ツドリトアヌミテ 話子鶯空ノ頭ニ用ヘカラス お

清暑湯ナキ達ナリ 朴ナキ本ナキ葛ノ味失木通大車太

葛ノ味失木通大車太

股脛心有テ食盡トヨケヌ事アリ下り寝アヘ(早田)  
朴十壹大白本十車、奴ナラ御子サニラ腰ハナラレ  
富リカモ食空ヘヨク滴スレ正下しシマアヘ貴中  
白鳥ナ莫拘+人ト+此類ヲ乞ミソ合セヨ

酒食

一 脣曾ラ横サシ子ニノ下ヒノ腹中ラ横サシ夜盃<sup>アシ</sup>同  
ナクサシト下リイカヘモ心地良リアフヘ先サホリ用事  
儀。宿アヌ福シソロヘト富ムヘシウヨリトドケル前半  
肉豆蔻。圓茎。諸子。蔓參。車ナ人。白木。二葉  
木ノ茶。一束。水ナテ用物。高ヒテ。家ノ櫻芋。山。肉  
豆蔻。根。餅津。阿勝。ヒ尊。案致ト。黃火。甘湯。大  
用。不思議。トズナリ

一 痢痢ト富ムナシ。命ナリカ子。卒ニヤツ足是ノ用。名是ヲ  
利根上川。王ナタクヘ虎ガサト知ヘビ。增金散。圭。貢  
千尋。カ。我本中。耳ナク。天南星。柏。昌根。五合ナ  
諸子。肉豆。右移。ノ。差。ノ。計。ノ。用。ナリト。命  
豆蔻。第一。松。茶ナリ。卒尔。傳ヘタニス  
勘弁。ナニ。天ハ二重。固大ナ。白童。ナ。子。  
一。海。鷺。江。深。热。下。心。主。也。黑。故。少。先。激。深。不。復。大。方。赤。

白龍丸玉九六  
三葉丸六中寒ノ葉ナリニ赤潤ア  
如意丸ト治ヌヘシ又ハ二重用大乙丸白龍丸ナトナ  
肉熱ヲサマフヨ

一名解冒ノ虚冷ナフ、向三葉散増金ニナト用、又中寒  
生熱裏し用、(レニナリ)

一解冒ノ虚トア慢便アリ方、小腹シケムト肺シテ一度  
下ルアリ大吉ハ熱ナリニ葉ノ類、梧主ノ摩用又  
大乙丸ニシテ

一  
雲脳上ナ冬ニナリ方上声ノアリモ物食ノ虚火アリ  
カ治氣膏有、末ハ大乙丸ニ葉

一  
食物消セ王ナ真アリ是モ熱ナリ心属病ナル  
大脚アリシ宝丹葉其事ニシテ

一  
淫脳ノ懲末、其脚太キナシ神曲ナニ葉ナシ  
耳ナリ、名肝ノ葉散アリ用、(日本本草小手アリニ葉ナシ)  
八味散門

一  
微風ヲヒキ寒ニカサレシヨク嘔ノせん感冒ノ門、偏正發散

一  
寒心脳中ノ船頭ア追ケ燥熱ア危タシサヌエニ時ハ丸  
全散丸ナシ

升火易根責

禁

卷之二

十一

卷之三

卷二十一

卷之三

110

古

卷之三

久々嘆息ナラヨノ声カレ胸ウレシキ疾患多クモニ附  
えタリ捕へし上毛ヲサリレバ流通し表裏ノ人ナフム

漫遊記

勝ノ元氣ノ傳トハ圓久吉更ナ故ナ人多ナ年  
上毛アサリ物ト書キテ調ニハキコラナシタウアレシト  
衣裳ノ角行立行去角行立或トモ或ト主ト

卷之三

三

三

南都人傷寒之氣多而少服藥者尤甚

第三日レノン、五日レイン、七日八日  
トヨタ、九日、十日、十一日、十二日

ナラ結晶、味上本ヌル物ナリ。其本味ヲ呑ム。

おまへをひきこむせんじやうに連続する事の度

生薑二三片入砂糖水

人發生。癸未望。肺俞穴下。內口。日二推。  
法。急。一寸六分。名。子午子。

七

微風引寒、ナカサレワヨウ喧ありしヌルハ肺氣風  
ト故ニ葉ハ肺熱トサシテ癰腫ヲ起シ登散ニシ  
テ葉大薑大降皮キ舟廣大葛根大是ア用ヘシ  
肺熱氣子サマスニ大薑大黃芩大瞿麥カギリウムチス

新古今集

胸外之火，寒之尤甚，故用大黃、陳皮。

一時タテハ白芍九春ト肉桂十又五シ吉ナツク陳皮廿日  
生姜半錢、前胡二本仁ニ又芍ソシニ也シ加減

前胡セイフウ 生胡セイウ 右薑用セイジヤウ 三日計用セイジヤウ 又是久用セイシヤウ

室ナハ胸ヲアカルナリ 室幸色反 鹿子前脚肺  
ノ微、深スルナリ弁广マワウ尤用ヨ又疼痛ガラナリ  
血アヒテ終トハ後、旁瘻トナシ 半支 筆 天帝星  
モト喜タ用テ

一本病ノ治革ノ中一 ま枝 挑冬巻吉ニ 章白 荒  
前胡是ア專用ヘシ  
一 壮所ハ腹ハ肺ノ屬アタリ又背三ノ椎ノ推ノ事ニナリト  
アリ

脚舟

- 一 哮嗽折木 風寒 冷痛ナリ 回ナハ 踵熱シニ 重ナキ  
タリ 新病ハ 鳥活一又ハ 中熱ノ葉ニテアタメテ 汗ニシ  
スヘレ 一草ノ大、服ヘレ
- 一 四病ハ 中寒モナキ、貌寒 本音ナリ 重牛ホアロヘレ  
草ヲ用ヘ
- 一 咳嗽ハ 桃仁、虫草、ウセナキトニエテ 草ヲ用ヘレ  
一 壯冷ノ婦人嘔ヌルニテ 文ノ後ハ 吐血ミ 赤帯ニシム温革  
固豆、阿丑、加ニ用テ 即嘔漬右ノ葉ヲ久ク用テ
- 一 丸、雄黃、丁子、硫黃、丹参胡麻子タ  
ノリ、押合肝ノカ毒、蜜牛口、煙ヲム前後酸黒味氣春ヘ
- 一 通ク飲テ 嘴ニシテ 年久人アリ 草ヲ用テ
- 一 咳ヲ治ス 硫黃、陳皮ヲ粉ノ丸ノ用テ
- 一 七水腫門
- 一 初八日ノ下タリカレ腫ナリ 次第ノ日 年足ニ腫ナレ 後、絶脈  
及フ必ヘソコハセ、毛ノナリ、脉突強ノ、食古又形如ミナラム  
萬物散 猪モ、汎ナリ、辰巳、寅午、未申卦、此支ナシ便通  
年運ヘソコノ體ニモセニカハ 人參益脾湯 人少白根

卷之三

白本  
此支ノ用ノ脾留ヲ補ヘシ通氣計ノ用ノ心血虛ノ當  
瘦脛良ニトヨ一兩日過テ一段脛氣虚物也又補氣計用  
火中生火トシ火入舍中生火其ア澤リナ中下ニ血流通  
長ナ多服渴氣虚量エルナリ然問通キ本補氣計ハカリ  
イ用ヘリトニ安ナリ久ニ脉沉細ナ身冷ナ脛氣トス人  
體之裡入ト知ヘシトニ至人ナリトニ至人之氣也

退體湯 加母安 無毒ナ朴ノミヲ用ヘ  
シテ上體寒ニシケン 章白皮 桂 大子反 陳皮  
芍藥、淮玄、甘草、桔梗、葛根、大冬、木通  
一肢脛脹氣少々、朴膏奴、共烏ナ陳皮  
右ケ様ノ如波ナ水腫ヲ治シ二日三日、一日ア補中ノ茶、  
ヨウカニス今白木軸、伏ノ頭ナト十四日而解  
和ト足コリシ時アヨリハコヘルハ胃虛スルニ依テ水ヲ引  
ソクセス証ナド生ハルナリ、此時ハ胃ア補シ水ヲ流通ヒ申  
其ノモ捕一石、芋伏牛七木通ハウイ、後ハ而レキ  
ノ替ヘシ胸ツキイキトウシリ喘スルハ下焦ノ水氣上テ  
肺壳ヲヲカヌイシナリ、其時ハ肺氣是喰シ上焦ノ溫氣ヲ  
去シシ薑奴等多ナリ、水腫ヲモリ足ノ甲一段シ脛脹  
化ス、高クセシソ平唇クロミ肩クホシ缺盆トシ

加味骨氣湯 脾虛之火 沉附子 生谷精草  
山茱萸 山梔 車前子 紅丹皮 肉桂 巴豆 半  
右丸 飲湯一服

一加意因、永睡息苦リアスヘテノ用下人見  
先、兵郎子、阿波、折本、三枝、千喜、萬邊巴豆  
え社も凡て十種又用茶ノ生草、並し渴ニテ

御宿ノ神(し) 幸(こう)ニ 神(かみ)御(ご)心(こころ)是(いそ)賜(たま)給(たま)ひ  
御(ご)心(こころ)レテ下(しも)ハナウニテ トモハ 大(おほ)き  
水(みず)神(かみ)御(ご)心(こころ)アヨクハ 下(しも)ニユリニ日(ひ)ニ度(ど)

第三章 植物の香りと匂い

一所詔水腫ハ宣熱ノ証ニ寒故ハ下道ニ宣熱シタ故  
依テ水谷ニ三便ニ通不せ可ル故ニ皮肉ノ内ニ水氣有  
而目渴眩ハルナリ脾田ノ虛冷トニラ人ノ白本ノア  
用テ脾胃ヲ補タクノイヨク不食ノ體氣サレニ便通セス  
ノ病甚口ハレ只倦怠同ニ三薰丸丹名丸ナラ毎日  
用テ病ナトリナ肉熱ナ十日七八粒氣モ止キ食ニスム物  
ナリ薄暮ノ大寒ノ革  
玉丹ナテ下ノ宝丹ノ用ヘリ千百石ノ量

卷之三

用ヘヤラヌ

空氣也無く、空氣也無く、空氣也無く、空氣也無く、

一丹石丸 古ハ魔門 在リ

一白竜丸 ヨリ下しナリ 古ハ病魔門アリ 今ニスル地

一産後産前、腫氣ナシアリ是ニ血ノ道、冷ナリ氣ナシ

一苛敏キモシ、モリカケ又ハ活るン

辰砂シヨシ

一諸病久ナヒ心腫氣ナス皆根ナリ 宝丹玉丹玉茎丸  
一必時日ノ虚冷アラヌ補アリ及エサシタシ此方生薑根  
一此症ニア便、淡暗ノホリ而見潤滑化ヘテ乃達ハ血道  
又タリニエイリアリノキヨレ毛沾シタカラ敏ニタ

一肺、火ウ小便ヲ通スル事、白丸

る

胡桃

一三種ノホノ盐、糊合皆手筋、小便通ナリ  
一末便ヲ通スル事、白丸、胡牛、溫丸、ニシホダル  
一溫石ノ灰、生胡ナフミタリ人汗、テ用ヘシ  
一小豆ノ通スル事、單剤ノ料、玉丹・加ナフミタラ  
一トキ裏け、病用玉茎本、空母ヤドリ

一諸病專証、津種、皆實熱ナリ 玉丹テノ下玉丹

一浮腫、消ヌ六寸ノ丸、巴豆、ヘテ里焼、ナタマ

一茶四テ用玉茎、及ナリ人、高也ナシ、氣ナシ、頭、口

一 水腫。全物ノ東中ヲ十枚古物全ノ完ヨリ水

立十枚酒ス

一小便ヲ通スエントウツノ、葱白ヲ二合セ鮮ノロニノ  
アリシテ肺アツル細ミアタメテトリトノノ葱白  
カヌヘソテ陳玉ノロシアツル

### 八 積聚門

大積聚ニ色モノ合別アリ、胸元脇丸ノアリ、カタアリ  
カタヌリハ心積ニシテ是處、薑三壳、右脉ナニカ  
小カク肺壇トム、陳皮、薑無子、トトト人脈ナニカ  
カタアリ、食多食少レヒ、婦太食セヒ淳下シ不食少シヘ  
リキロ中スニツカセヒ、脾積トス、薑朴責哉  
脾ノ下ホカシニカタマリ、肺ノ時ハムシクト脈ノ打ツヤウセ  
モツノ動レアヨアコリ、肺ノ時ハ胸元ヘコシアリアドスルハ  
苦楂トス、槐木、三棱、吳茱萸、肉桂、姜、芍  
右地食、五味、楂、見合ク此墨ノ葉ヲ養生茶、以手  
用ナ病者四日一劑、四日一人ナラハ一日、一度牛フ、脂油  
各ハ故裏湯ナトカケ只積ノ治毛心モ人中血、氣虛  
之ニ良、一身ノ血氣液通シテナシ、澤リ、肝留寒入

卷之三

詩經

大勝完 背後數十步

時精二十腕精三十之金ノヨリ其精以上其合ナリ

一九五十年春日

上ノノ生ニ而ラクノ賊中、而積有テ傷ム人十人

予及子上同也

居有リ胸リタシカラハ、白木、奴、ウツコ、ウツコ、ウツコ。

小刀活套  
取本  
千制  
五  
董  
改  
盛  
器

卷之三

（大風）

ナラ酒レ薰テ後ハ虫種トナルト知ルシ皆相剋ノ相生

卷之三

勝利西タアリアルハシノ横幕ト江  
戸連 筱笛 亮輝

卷之三

名勝記游詩稿有沉香附子無郎子

解横ナリ心口中ヨリ呑酸氣也

一  
卷之二十一  
升本末用

此處二後

七 茄子肉上用

卷之三

おうほく 三歳ミツザイ トドケテ 治セント 悪アキハ 田舎シロの風カタチ  
ナスハナリ 十ニリトドケテ 一度イチゴト 二度ニゴト 偵急シヤクシキ 同ドウ 脾ヒ癆ヒツ 四シト  
合ハマ 下シタハ 飲ヒム用ヨウ 生食セイシキ 進シテル事モノ トドケテ  
穀コモリ 食物シキブツ 用ヨウ ハヤシス

一 上アベ ヨ酒ヨシ 飲ヒム 飲物シキブツ 物モノ へ 喰スシテ 版中バンチ 捜タリタリ

酒シロ 級クトニ 幸交カニ 香カハ 下シタ 青皮シオノヒ

白木シロキ 亮リヤクトフ用ヨウ

一 酒シロ 種ク 用ヨウ 丁子ヂンジ 苦連クル 木毒キヅ 富破ヒツバ

王金ウキン 抱本ハボク 具ツ 大黃オウレイ 苦楚クス 用ヨウ 遊藤ヨウドウ 桃仁モウジン

一 木ノニ 並種ヨリクトヨハ茶カノ 墓ツバ 漢カン 里リ トト 資シ 人ヒト

入草ト已ヨリ 望マツア イリア セテ 已ヨリ トト 衣エ トト 木計キシ 大細木オシキ

久ク 桐キラトト 吞ヒセヨ 脾ヒ 瘴シキ 同ドウ 用ヨウ ヨレ

一 脾ヒ 瘴シキ 小コ 有アリ 白木シロキ 三棱サンリョウ じヤリジヤリ 名メイ

一 心機シンキ 拙アリ 咎カミ 朴ハク 今ハシ 壳カキ 白木シロキ 末交シモ

一 三棱サンリョウ 有アリ 用ヨウ

一 脾ヒ 瘴シキ 物モノ ホトツニアリ 鳥乳トリミ

一 赤色脂シラタマ 小杵コツ 南圭ミナミ 木令キメイ 右丸シマツ 用ヨウ

一 部種ブツク 右アリ 車复カツフ

一 漢果カンガ 通心ドウシン

毒壓

古木用

毒壓

古木用

毒壓

古木用

毒壓

古木用

毒壓

古木用

冒接

大薦用

冒接

大薦用

冒接

大薦用

冒接

大薦用

一  
立接散 一切立病大薦，立接 三萬つ 感虫 痘外多加散  
丸ハ此度アマサス用ヘシ 立接キルナリ

立接散

丸ハ此度アマサス用ヘシ 立接キルナリ

立接散

丸ハ此度アマサス用ヘシ 立接キルナリ

立接散

丸ハ此度アマサス用ヘシ 立接キルナリ

首壳多 三箇十 兵十 青皮十 丁革

首壳多

兵十 青皮十 丁革

首壳多

兵十 青皮十 丁革

葱仁朴子 李仁 萬通

葱仁朴子

李仁 萬通

葱仁朴子

李仁 萬通

葱仁朴子

李仁 萬通

右薰丸散 人ヨシアマサス用ヘシ 何重接モ奇特アリ

右薰丸散

人ヨシアマサス用ヘシ 何重接モ奇特アリ

右薰丸散

人ヨシアマサス用ヘシ 何重接モ奇特アリ

右薰丸散

人ヨシアマサス用ヘシ 何重接モ奇特アリ

西蜀丸散

安生丸十本

西蜀丸散

安生丸十本

苦参 桃仁 皂莢 薑仁 三箇一 萬通

苦参

桃仁 皂莢 薑仁

三箇一

萬通

苦参 桃仁 皂莢 薑仁

三箇一

普散 本香

白本

朴山桃皮

右此等风火

皆一切

之用

之用

水引酒アル奈ナリ 一方病、金ノ如滅ト云。是ニテ加減

之用

之用

之用

之用

之用

之用

一  
脾接肉子 本香 桃木 青皮 虎 壴牛子

脾接肉子

本香 桃木 青皮 虎 壴牛子

脾接肉子

本香 桃木 青皮 虎 壴牛子

脾接肉子

本香 桃木 青皮 虎 壴牛子

一  
薪捨上役六聚金匱 大接元後酒積皆此

薪捨上役六聚金匱

大接元後酒積皆此

薪捨上役六聚金匱

大接元後酒積皆此

薪捨上役六聚金匱

大接元後酒積皆此

一 三黃丸トウイリョウマル 十寒大寒ノ薑茶水シラタマス 用テ温ヨウナヨシ  
一 薑冷ヨリ起アキタル後アフタニテ得田ヨリ温補ヨウブ 李イチゴ  
白參ハツシンナトラ用テ温補スルヨウブスル フアラハイヨリく版中バンチ  
積ムカシイタシ不食エルフシテアリアリヘシ

一二玉丹イチニトウダンナ下シタノ常ノル室丹シロトウダン又アリ大オし九クシ用テ猿申サヤムシシ  
タス後アヒルノアリアリテシ是接イシツクノ本ハ治ヨウスルトミナルトミナル元  
一 婦人血塊エツカイ之妙草ミツコウ 芒硝マツナウ 大オ丈シヤウ 二三枝苦クツ根ル  
右手ハンドノ吉醤キザン一盃イチボウ用テ 平蓋ヒラガシ 素ソウ一毫イハ大オ芒硝マツナウ  
正接次セイツクシ逆接入イキツクスル九クシ十トメホト呑ドクリシテ白湯シロヤク酸ソウ  
加カテ用ヨウヘヨヘヨ 三道ミツドウアリアリ

一 正接セイツク逆接入イキツクスル玉丹トウダン用テ下シタノ 甚シテ陽ヨウ 陰インナナ用  
用如彼三度下シタノ治ヨウ見ミモムアリアリテシ是接イシツクノ本ハ治ヨウスルトミナルトミナル元

### 九 腹滿門

古今腹滿丸コジンハツマンマル 伊豆イズノ食シテ酒シテ腰シテ虚シテノ依テ  
飲食ヒヤクシキノ精氣シヨウキノ上下アッパ、食散シテ流運リュウウンセヌ中シテ食シテ、タスヘヲシ  
故ソシ限滿ケンマン土來トライスルナリ 肺ハラノ皮ツヅクノ氣ヒノアリアリテシハ  
大鍼オシノ皮ツヅクノアヌアヌナカリナカリタコタコアヌ底トメハ何ナシ空スル虛スル大オ  
是シテ腹ハツナキナキ 大オ便シテ下シタ無シ虛スル註ツクシトス是シテ不ハズ有ハズ  
補ヒツ神經シンキョウ丸マル 蓬ボウ 貢コン 宮ミヤ 室シロ 白シロ本モノ 五ゴ月ツキ

備前丸ノ名ニシテ  
寛十九、白木、今十兵、本吉、朴、如前前十九

茶ノ油断ナリ用テアヒ、禁物ツヅシマセヨ。

胸膜、皮、シホトニズラム。腹脹大ノクレナシレハ石ノ如  
麻ナタクセハ必ヘ大便結シナナソ。小便失毛ニモニ満  
トヌ裏紅ナリ。是ヲハ草サホテ中止ノ滿氣クタガリヘ

安胃湯、朴十室ナ無質大空ナ無考。

右廿日、用テモ大便結セハ上六日、一度ア、寛腸丸

ア且ナ桂木、青皮、大黄、白芍、甘草、厚朴、枳壳、用

ヘシ服湯、カナリラ病ヲ治スル。茶計ヲ備、用テカラス  
十日ノ正氣虛ニ依テ張トアシ滿トニキタル故也。

補茶計、テモ脹滿レリソモ中止。虛本後セニ故ニ十六日ハ  
病ヲセソニ二日ハ正氣リ補ア脹もヨイワタセア脹湯

アキリテ病者脹後ソドテ苦辛破ニテ通瀉レシテ  
ヨロシシトテ上連スルナソ。否セテ通エハ萬度ハタクロキ

ト云ハ日一兩日遇テハ前ヨリ一倍モ脹滿也。十日

ノ後、上點者セ病全ゼアラシテ通瀉レシテ

胎氣クイソカス奉アル脹ノソシテ行シ水便アリ  
ぬヲソフロケ其間補藥ノ用ヨモニル滿クソロシ  
腸胃ヲクワロケ入寒間補藥ノ用ヘシ小便シテナ後  
ハラハ冬ノ季トス木通ヲモ加ヘヨ小便シテク其ニシテ  
久而日半足一時丸出来ルナリ寒脹アヌ木毒  
朴丁子宿血土音及木通肉桂熱脹手足危此  
雀等寢奴虎服湯望物通烏一切食肉生  
全ノ硬物ヨリノ消シカタナ物何ナリニアキ物ナシ  
ヰナフタニモ禁用一入スナリナ直ラ脹痛ヤヒルニシテ  
臺ノルニナ往々ナ直ラ脹痛ヤヒルニシテ

又皇帝年號大德，置七司天下，並置太常禮、尚書、御史、刑部、戶部、吏部六部。同體相成，才全才不全者，則謂之偏。偏者，形滿而不足也。

除湿湯 伏令キ朴中白本ト此中貴音波ヘ薦テ  
此類ニテ湿邪ヲ退テ見テ未退ハ虎完ノ如エテ一面  
口ニ用ナ服キワフロヌスハ白本直仕貴ノニシテ  
ソロシキト治ヌベレロ傳ナリ是ハホノ年アソコニモツヨリ  
ハカルトキノナリ心ナキ冬ニシテ苦シキ吹モラ吹キ

清江先生集

活食

一眼満ハ解ヨリヨハキ人頭ヲ佳ホク身調生時余風  
引日ニテカサシ處ハ食リ尽シキ物モ食しシニ一下ニ  
ツメ身脛ル。物ナリ太便小便下ニス又婦人血ノ通ニ  
ヨリ生核ツキノモ賸滿トナリナリ四日ノ上れリヤリヒ食  
ヲ消シテ子帝皇ニタメラキヘル。丸ノシ

一先是ラ用ヨ行マ小便下ルヘレ省貴川草。使中  
白衣袖今大五カ朴ナ。右薦メモ用大ノモ用ヨ又

薦連亮カ如用世間ノ事也。此ノ事也。活食大通ニテ  
ハ余百本ノア露居。ハナテ萬ヨリノア固ヘヨ

一車水十下スノウリシニ下ラム體ニヒナリ又一體ハ此也

二小便法ハ伏木通 薦連 半身 知母 貴本ナ  
ナトヨ用危フ用ヨ

一病ヲスルヒトリ地ヲハサマレ食リ追ハ體ハ引ヘシ  
二寛中湯 壱伎令 半身 竹 又麦門、兵  
西 貴本 大真 宜右前妻シ用

一清潔丸 素韻壳 兵 大貴 貴本

一又方牽牛ナメ 大貴本 兵 忽活少東 吉良ナ

備急。弓木ナ。首 于善之丸ノ 灯心堂湯ナ

火加溫湯ナ

一 千尋 白木 青皮 紫人丁 香 草果 茯苓  
李朴 真牛 薑香 半夏 壳 粉本 各量用上  
葛根 木香

一 胸喘せん 喘嗽門子補

一 脾胃門子 四物ノえリ調

一 淋病門子 小便ヲ下へし

二 淋下、誠ナ利ク下ス

即寄

一 腹滿大苦ハ寒熱ノ病也 水腫ノ重ニ病ト如レ

一 脾胃ノ虛トナ補未用ヘキニ方脾留蓄ノ滋補シタマリ  
陰中生寒滿ノ不食シ胸苦ノナムヘシ大寒ノ禁未根實  
垂耳ノ加ナ豆汁ナ三葉九大乙丸ノ用ヒ袋火熱ト  
伏熱トエリ 宝丹妙ニサマ

一 並腰チ腰滿セハ並下レタシ古ヘ別录アリ

一 便後後ノ風寒ノ冷モアリ 又ハ並ト 大熱ノチニ草

大乙丸 宝丹ノ用 ワ丹ナ下セ

一 腹滿後腰アシルト冷モアリ 人ハ並ナウ中熱ノ茶

一 腹滿後腰アシルト冷モアリ 人ハ並ナウ中熱ノ茶

一、冬青吸滿し

十、吐腸喧譟冒門

大三魚ト中ハ水谷ノ道路ナリ故ニ上魚ハ水谷ヲ踏ナリ  
ツサムル後者ニ中魚ハ上魚ヨリラサソタル水谷ヲトロカシ  
ヨリシテ其ハナヤカリシヘシキ物ナリ血氣トナレナ耳鼻六腑  
全散シ一身ヲウルテヤレナフモシソノ糟粕ト火汁  
トク大小腸ノ傳ヘラクニナリ大小腸ノハテニミ糠カス、  
肛門ノアメ、水汗ニシテ膀胱ノ送リ傳ヒナリ汗毛四十汗  
ナリ各別々大小便ニテクル机テ下車ト云シ乗及禁思慮  
未ナガシタニシ度、私也オニシテ、塵埃ニシテ、馬糞、アマ  
モナアラ田畠ニシテ、ナシタニ水穀リハナマナナルウニシ  
テ一車ノ米糲、混連セヤシナフナリソレヲ津波ト申其  
津波ニ獨ハエヌクヌヌ三魚ヨリ出テ、全員ア流作ヌ吐丸  
丸散エルトツレタムクナリ故ニ氣上昇、漏リ胸膈、ツツ  
ツツ特ハカノ津波上魚物、ツカゲナモレナシテ、  
然ハ氣ト疼ト胸ノ上昇ノアク・ツカヘリ時ハ食更入フ事ナ  
リ、下膈ノアタリ・ツカヘル時ハ食更入レスマノレハラ、吐逆  
ノノ聲ナシ、肺脇、ツカヘリ時ハ食更入レスマノレハラ、吐逆

ノノ聲ナシ、肺脇、ツカヘリ時ハ食更入レスマノレハラ、

タクル食事一日、早口エレヒトヨケス其で、有テ大小腸  
送リエヌフセナシ故、朝食ノ薦叶吐シ暮食ノ朝ニテ  
蓬リ及留日トヘ申シ必大便カタクタムクシ故、嘔吐病ト  
勝病ト、勝勝ノ邪大ヲ退ケテ上血ノトガラ流通し疾  
嘔吐也

快勝湯 先中 室中 紫中 白木中 紫草大 苦及  
生姜

麦門冬二四日ミテ、補シ、血ノカハドナルナハウルニシ、中金人  
大ノ頭タルテアタマテ治ス(?)

卷も脚中病 大ナタタキ表肉主ナ骨ナ太用參ム

嘔勝湯 邪大ヤルヨリ胸膈、奉上ノ氣有テ食ヲツキ

テエヌナリ及留日ヘ正大ナキ、依テ食レヌナシニエナサヌ  
送リ出サエノアタクタ、色モカハラスノ食足ノ吐逆エル  
私ノ為食ヨリ、及留日ヘ温芋リ用レキ 肉圭介ツレ  
温者白身ノれヲ用(カタヌ)整物ノ己ナケラ委ハナフ  
上白ノスナギ飯万ノ色烏隣ニテ肺ノ消氣ニモノ氣  
ノスナギ能食(ヤリ)エルヲ、晚食エリ、夜食ノ水無用

トニテ、海生冷ノ薑子大、タマリナシ鹽味リ  
トヨタマリナシ、如何ニモフルキヲリテ未テ飯ヲハシテ  
シルリト粥ノ如ニ食テタツ用ヨ食後、ソロヒトアリ

キテ食ヲ消セレノヨ

活套

一 及雪ノ詔アマクアレ医脾留ノ虚ニ三食ノ盛不リ  
一 気不降ノ胎・ツカニテ及田ヨヌルシ精液ナリフヌ故  
一 痘飯レ朝食シタル飯ノ時過テ吐逆シ腹氣弱  
一 肝留並ナキニシスル病ナリ  
一 痘ノ亦ナヨシサホウ吐逆ノ事ニシテ、嘔氣也  
一 脾留ナ調主風レ脾留ノアリテ子宮附水ナリ用ヨ  
一 夕食シタル物ヲ朝食カハヌスノ吐逆也ナラ五日ト  
スナリ嘔吐トハ吐逆ハゼズノヤテエツキスル計ナリ  
必大便カタク結エシナリ

一 捷脚湯 兵 松實 嚥訓 白木 亨 露妻卷下

一名重し用丁タミ、丸茶ヨリ冷茶ノ用レハ殊、酒ヨリ斜  
アカルト 盐味ノカキ物ワレシ又茶ヲ飯タマハラカ

タニテ食後、喜びたり。クツトモナリ。

木本、白木、人今、白木。

伏苓、木通、富士、直中、丁香、人今、白木。

桑白皮、沉香、五味子、無人、生甘皮、黃耆、神曲

麦門冬、杜仲、芍藥、大棗皮、黃耆、羊皮。

血入方アツハ、四物湯十トセ用ナヨシ。

勧井

嘔吐陽虛胃の何レモ寒熱也無ナリ。瘡ナムトヒヘヒト

先玉丹ヲ用ナドノ。宝丹、内熱ニサマシ血ヲコロス

乙未ノ玉丹ヨク治スルナリ。瘡ナムトヒヘヒトヒ

あリテ之等第ノキ末ナタガタレタレ。大し丸ナシ用ナヨシ

及前ノ散也。瘡ノモ前ノモ此ノモ前ノモ此ノモ此ノモ

其故ハ酒也。醉ナシ遂スル時ハ死時也。食物を

アツハスノ吐逆スルモノ也。木通、白朮、芍藥。

吐逆ハ冷ナリ。大方ハ虫ナリ。中熱アツモシ。

十一 黃疸門

夫莫行炎症敷瘡涌血者皆瘡トナリ。五運ノ分別アリ。

東方エラリ。木下ス去ミタ基中、虛証實証ト有事アリ。瘡

也。本下ス去ミタ基中、虛証實証ト有事アリ。瘡

久々微寒發熱身中水クサク脚十小便白ニヨリ

少虚証ノ裏症ナリ

補中陰溫湯 白朮 今 貴 白朮 十馬上

以上此方ノ某トニシテ療治又ヘし急、大便ヲ通スルト

アシ

脾腎ノ熱氣有ナ食ニ氣鬱蒸ノ又淫熱、ラカナレ候。又  
体面日暮色生ル大便レアリカナレト便、赤く、臭い  
清心除湿湯、色ナ空ナ本通ナ前陣ニ 実ナ

掌朴瘡ノ上江高ノニキテ小便ヲ通セ大便ヲ心ヨリスヘシ

ミシ名腸トナラヌタキ隨ナムキセハ多事詰トコト連治シ

連セ國ヲ通シ先ハラク小便矣シアリノ後漸セ、身  
体即日更ナク酒漬トヒテ先 費 荘ノ生ステ表散  
本通便冬景危ノ影ナテ小腸膀胱ノ淫熱、浮ニ  
身体至通ノヨリ小便スヘ通スルハ中身ノ淫熱ナリ酒漬  
ナマク、脚ナフノ裏ヨリ出ルヒムソシクヤホウクナリ附、又

ソロク酒漬加クルヒタリ裏ノ股脹し消レロモナラフシヒ

外ニ身体蒸蒸アリ全身癪、淫熱表、アリ汗セヨ

身休莫忘身。身不平，溫故知新。

古文

「玉舟テ下ノ全舟ヲ用テ内丸ヲサマスベレ  
舟石九号、自ら瘞門アリ

カレハ誰も食ノ蔓道活えリトモアリ

アリ 菓を行出テキ物ニテ染ルナリ 小便ニ蒙ル  
ナリ 暈ノ歟片急ハ頭ナルカ故ナリ 面目黒ナリ 滴ナリ  
タモト物食シ始水シキリ タレ又凡寒暑過テ  
ヨリヨリ發セス熱氣トナリ 大便ツカヘ出ヌ所ニ用  
内、宿直ライム治古ハ冷茶ヲ用鼻調ニ解曾タ  
調ヘキナリ

白木湯 油生白木 檀實 苦杏仁 草少易根  
枝大直是此湯症

一 番ノ冬 玉蘇<sup>タマス</sup>トヨサナ わ善入方煎<sup>ハシナ</sup>用<sup>ハシナ</sup>火水煎<sup>ハシナ</sup>

一 茵陳<sup>イエンジン</sup> ツラカコ<sup>ツラカコ</sup> セキヤウ 山危<sup>ヤクニ</sup> ダイウ<sup>ダイウ</sup>

一 是<sup>シテ</sup>ホフ風<sup>ホフ</sup>アレ

一 敷瘡<sup>ハラシナ</sup> 四 敷瘡トテ食<sup>シ</sup>ヨリ起<sup>ス</sup>シ煩<sup>ボロ</sup>シ

苦辛<sup>クセン</sup> 龟胆<sup>カガニ</sup> 草莫<sup>カモ</sup> 右三<sup>ミツ</sup>ヒリ九<sup>クシナ</sup>ノ善<sup>シ</sup>ノ羹<sup>シロ</sup>湯<sup>ヨウ</sup>

ノ用

一 寶豆<sup>ハラシナ</sup>ト通<sup>ス</sup>アアルハ 活石<sup>ホクシキ</sup> 白丸<sup>シロマル</sup> 石末<sup>シロモク</sup> 大金<sup>オウキン</sup>

糊<sup>スル</sup>トテ九<sup>クシナ</sup>用<sup>シ</sup>ヨ

一 心物<sup>ハラシナ</sup>ト内<sup>シ</sup>白本<sup>シロモン</sup> 肉圭<sup>シロクイ</sup> 疣<sup>シラヌ</sup> 痘<sup>シラヌ</sup> 今<sup>シラヌ</sup> 半支<sup>ハニチ</sup>

糊<sup>スル</sup>トテ九<sup>クシナ</sup>用<sup>シ</sup>ヨ

人<sup>ヒ</sup>ト陰令<sup>ヒヨウ</sup> 痘<sup>シラヌ</sup> ト白本<sup>シロモン</sup> 蕁<sup>シロモク</sup> 本通<sup>シロモク</sup> 杨<sup>シロモク</sup> 売耳<sup>シロモク</sup>

石<sup>シロ</sup>圓合<sup>シロモク</sup> 痘<sup>シラヌ</sup> 用<sup>シ</sup>ヨリ替<sup>シ</sup>換<sup>シ</sup>トハルハル<sup>シロモク</sup> 朱<sup>シロモク</sup> 九<sup>クシナ</sup>高湯<sup>シロモク</sup> テモ用<sup>シ</sup>立<sup>シ</sup>瘡<sup>シラヌ</sup> 用<sup>シ</sup>ヨ

一 血<sup>シロ</sup>ノ方<sup>コト</sup>起<sup>ス</sup>ラヘ 牡牛皮<sup>シロモク</sup> 牛<sup>シロモク</sup> 等<sup>シロモク</sup> ト<sup>シロモク</sup> 疤<sup>シラヌ</sup> ト<sup>シロモク</sup> 疤<sup>シラヌ</sup>

絆<sup>シロモク</sup> 石膏<sup>シロモク</sup> 思<sup>シロモク</sup>ホラ<sup>シロモク</sup> 用<sup>シ</sup>シムヨレ<sup>シロモク</sup> 痘<sup>シラヌ</sup> ト<sup>シロモク</sup> 疤<sup>シラヌ</sup>

十二 脚氣門

大脚氣<sup>シロモク</sup> ノコル<sup>シロモク</sup> デ<sup>シロモク</sup>レ<sup>シロモク</sup>レ<sup>シロモク</sup>ノヨリ 则<sup>シロモク</sup>脚氣<sup>シロモク</sup>ト<sup>シロモク</sup>モア

又<sup>シ</sup>ヨ<sup>シ</sup>ノ痛<sup>シロモク</sup>アレ<sup>シロモク</sup>内<sup>シ</sup>ソロリト<sup>シロモク</sup>トヨ<sup>シロモク</sup>ア<sup>シロモク</sup>脚氣<sup>シロモク</sup>ト<sup>シロモク</sup>モア

其証アラタアリ<sup>シロモク</sup>心<sup>シロモク</sup>仕<sup>シロモク</sup>見<sup>シロモク</sup>今<sup>シロモク</sup>脹<sup>シロモク</sup>り<sup>シロモク</sup>足<sup>シロモク</sup>至<sup>シロモク</sup>ラ<sup>シロモク</sup>不<sup>シロモク</sup>ニシ

行 アハシ 足ノ既 アリ 腕駆 アキ 事 アリ  
或 アリ 人ノソロト 行 アハシ 足 アシ 腕駆 アキ 事 アリ  
カクシヤウニシヤツノモアリ 足膝ナシ 腕駆アヨイ 腕駆  
セアリ 足膝イヨシホヌキ 痛ヒツバリ叶ハヌモアリ 食ミ  
包ツイゼナリ 不食エルモアリ ョムラアタリ 针ニテサシ  
ツリヤカニ 常一胸コムアケルヒアリ 足膝ヲ節レヘリ  
テク時サ即ニアフマリ 伸ニレスモアリ 胸サハキラニモナ  
アドリノハラニイマヤス者モアリ 身撫シシ袖ヌルモア  
腋痛タメルモアリ 身ハ咎咎也シテアラモアリモナ  
右如地也ナシ 痛症アシ間見知リカミシモ見知ス也癡  
エシハ活シカシ大後毛ニ配同属トモラカケ

一ツヨリ腫テリ七年ハ毛治牛膝ト本丸ノ根突  
一ツヨリ中ハ木通高附子防己貴神ノ奴  
一ツヨリ加利化ハ薑蒜ニシカ本丸地黄  
一胞ノ下水拿スルハ黄芩朴子

葛根、杏仁子、黃芩、  
肉桂、地黃、紅花、梔仁、本乳、當年、  
陳津、橘梗、桑所、熟地、防風、蜜、淡酒、牛蒡子。  
半勝、虎、空心、  
葛根、杏仁子、黃芩、梔仁、本乳、當年、  
陳津、橘梗、桑所、熟地、防風、蜜、淡酒、牛蒡子。

物別脚氣ノキニ奇血ノミナリ方リ澤し故痛リ  
二十三日酒ノハ腫レニ 紅茶 花 固圭 七 旨赤仁  
虎杖シテナヨヒ痛シ 已貴兵 吉 室本通

吸 香附子

如其化養生ノ形ノカリ脚ニモハナラリ苦カニコナケレヨリ

アセ食反ス、アヌ田口ノ氣スクナリノル故、本處スルアリソ

補中益榮湯

奇 + 賢 + 生姜 + 兵 + 生姜

石地氣ノ某ヲカヌト合テ特ニ奇ノヨリ 今迄 白本ノ

氣氣ロハト伸ヘテ身裏ヘ心經絡ヲ儀シタリ 補トアシ

筋骨筋肉ノ事ハ少シ便づヨリヨリソロリト通キ 本アレハトモ、五

卷ハ半月ノ時十日一薬早

アヌ方ニモアシテ取用可也

治食

一

脚氣ト共ニアツクアリ脚氣ニ及ビ寒ニカサニ血ナ

一 水キニ出シノ節、冷クアリ又足手ヲキツク以カニテ

脚氣止マサリ

抽薪散

氣ヲ降レ風ヲすし

藿大葉ナ壁ニ危

兵半丸十生姜

草胡充

吉更 今後亨

脚氣體子浮血十枚

出ナラスハ

五倍連翹湯ノ用

痘婦人養生法  
血崩ニテクルナホハ 四物湯内一血 我本 本血

薏根ヲガム用

ツヨクニ至ル久 無鶴 木血案 佛已 本通 貢禁

右用不食ミハ解モラフ補ヘシ

一 疼痛ニハ 雷鳴 薏根 黃芩 一石膏

一 足膝トヒノニスハ 生牛 牛角 紅姜 本此 壓空

一 苗 西 牛七 用シ 引ツルモヤムヘシ

一 脚氣ト云ハ血、通塞久リ氣ツカエル故ナリト知ヘシ

右者 生姜 本通 生姜 右薑 月

大便四口ハ 膝心同フ用

ス多氣ト外者 痛所ヲバクヘシ

一下革ツモヨリ 腹ヲニカエヘシ

高年

一 脚氣ハ血虛ノ故、直熱サカシナリ、脚氣未エ半心

ベシ氣熱ヲナマレフ、痛ヲマムヘシ、辰砂ン活るシ

一 血氣ノ冷ノ血ノ生ヌベシ

一 脚氣ハ血ト丸トノアサウタル故、痛じ玉丹、本

室丹ヲ用ヒ、當治エルナリ

松葉虎今茶 百叶地骨 七夕火 治根

一松葉虎今茶 百叶地骨 七夕火 治根

一以上セハ新ノ茶ナ毒ヘシ

一山酸茶 茶 唐瘡茶 カキサホヨリコトアリ

一松葉

星天蓋

以上茶ノ茶ア酒ケ用アリ

一西カメテオ松葉以上茶ノ茶ア酒ケ用アリ

一里蘭ノツの傳

第本大脚病病人食之大脚病又脚氣也

一里蘭ノツの傳

第本大脚病病人食之大脚病又脚氣也

夫氣林石林青林苦林ノ上種 金剛アト云氏 凡ハ腎

膀胱人病ナリ 腎ハ下焦ノ主ナリ 大小便ノタモナラ主ル

小便ノタモニ上焦ニレ候テ小便レシ 膀胱ハ大小腸ヨリ

少々アリアリ火氣ヲラクタマク候セリワ 膀胱アリトウ

テア氣浮ヒハ小便ニシテシナエル故ニ 茎中アリ其氣也

又故ニ病高ナ時ハ茎中ウムナリ 無ハレケキハ肾虚ノ

ノワナリレラア病ハ膀胱もア熱エシイハレナリ

神首通水湯 生茶大百叶 夏月モア空下ノ也知母

鹿子ノクシナ 車前子ナ 草芋タ

タナマセ 茶 マツ 宜 水母 淋ノ喉カハナズハ血氣

治セヨ 生芋 肉身

初ハ小便レアリ 嘔シケリノ次第 小便ナヌホシ 後ハ血ヲ

イクヌ是ハ直ノ也ナリ

等

治心湯 生牛蒡 茄子 乾薑 水煎服

癪 空丁 雜車

浮浮丁 雜車

以上加竹療治し次第へ、癪ナラアハ生キト、止ソニテ此キ  
用赤ウツヤシテ白烏ナレ 生白ヲヤソテ酒ヲスリテ

始ミル時ヲ用ヨカタ圭フ加

寒冷ノ革カナ、面白ノ氣虛し食入、シカ子面モ黒ニヤセハ  
白木今女テ革中、加ヨ 小便メモタシス夜中、コトニ  
レケム。走骨益如ノ丸ニホ、特剪革ノ時、唇セヨ  
被毛ノ所、各半服ヨト。着革ノ時、生革ノ各セヨ  
又駆ノリキノ度モヨレ  
夏ニ至リ傳アリ真性冷寒、火氣虚ノ水ヨミ革  
補膏ノ例ト考ス其ノ性冷寒、人體先ノ頭熱、退下  
使フ通利スルニヨリ治済ノ利ト早ニ此面糊ヲ和合ノ  
正瘡ヨリ神鄉熱ヲ退ケ治たり然而ナリし痛モナリ  
少用ヒ正瘡次第、虛ノ小便モモナアタク勿念モ  
助解設、事ノ輕重ヲ分別ソ治ヌトナリ

一 治瘡

等

卷一

一 淋病トヨハ見テ、腰ト股肉、風ト寒ト、廻リ小腸ノ疾。

一 腹脇ノ痛、熱え者テ必淋病トナルナリ云。

一 気淋る淋血林膏林筋林筋林ナトテ五種ノ命別アリ  
大肾者言元、腰ナリ腰下急ナリ主ナリ大小便ノウニキラ  
マタトスル之今肾虚エシハ小便レケムエルシ腰えトハ  
上ヨリクタスル水汁ナリナリ腰ナリ腰脇之腰葉  
者テ腰トコラシハ小便濁ウニ病ニ並ヒ茎中ニテウム  
ナリ小便ノ通フサナリ、病レケム只腰月虚ノヤハント如ヘ  
五善ハメハ血ヲ補シ腰ハヤクノ熱セハサマレニテヨン  
色也陽半ニ弱ナ、茎ナ食今大如身ナ色ヌ真ナ  
一 車ナ右腰

一 血ヲ多出ハ、田物湯ノ内ヘイヲ加ナリ相、用ヨ領ヘ  
一 热ナリ合ソシ、腎ニ鹿ア血ニ危ニ安ナシ、蓋用  
一 ヨクノアリ、病ハ傳ナリ如母、淫淫中本直ナ、直直大  
車ナ、空ヲ多用、是ハト便ヲ濁フ自由ニ下スギテ  
一 やノ病ノ小便レテラニ空ニテ用ヘシ社會危ノ如ナ  
し病ノア病ムハ空ニテ入ヨ

一 腹ナヌヤニテ心丸ノ直ナフハ、障氣湯ヨレ方ハ、口門  
一 補脾湯ヨレ、マツナ食ナ人解留門ニテ食ヲスノヨ、平田日數

アマリ冷キ音ノタニヤカヘナリシラト便クモクヌタ  
レナク夜ニモ活ラモラサハ 走音 直知ル人丸丸生

ヨシ 鬼鼓ナ用ヨシ 喷ク補ベレ

アマリ血ノミラヌハ體名ノモク霜ノノ茶一ノ斗  
着 車ノ汁、テ用 又髮ノリナツ電ノ用ヘシ

胸 あノカバ 竹茹ナ 灯心ナ 沈香ナ 檀脂ナ 使ナ 是加  
肾 肾足ノヘ 茶ク 連肉ヌ 兔耳子ナ 使ナ 車

今ナ 赤々 杜中ナ 車ナ 右小便白ナ物ナトスル  
且し 之ノヘ 茶ク 連肉ヌ 兔耳子ナ 使ナ 車  
名前ヨシ

志留湯補心蓮子火ナホ、書ヘシ酒、ヨイナ陰茎、ヨカレ  
水茎ナトラウホリ看豆思ラスルナ 茎、イタクアノルコト  
皆、毒ナリ

### 卷之三

所詮淋病ハ三事、氣血ノ實熱スルガ故、茎ナヘニウシ  
暴レフリ痛ナリ

心肺熱ヨハ渴スル實熱ニヘ渴ヌト云ヒ只三事ノ熱ト心ナ

苦寒草寒ノ茎ヲ見令ナテ用

只室丹ヲ細ク用ナ用熱ナツスベレ又三茎九大乙丸

四

一 本方 空 丸虎 各半分 紅花水アリハナコノアラシ

ヒナモ 一包・五粒右湯丸ノ何レモノシ

一 三黃・芍硝柏生 石膏ヨリ加テ用

一 血淋・治ス 杜若ヨリ本通ノ四ラ薬用

一 人方車 木瓜 唐草ナフ 加テボノサケテ用

一 人ハヘウクサウ 丁ラ入ナ煎用妙シ

一 三黃・杜若ヨリ本通ノ四ラ湯ノ度ミニエヤヘラセテサマ  
シテ其湯テ用ヨ

一 劇本寒ヲホメ酒テ用ヨ

腰痛坐弱シ者山門  
身裏一タル人體ノ氣トホシキ於ニ酒飲

寒冷・飲食テ用テ・モシキ由ヨリ氣シノテナツワ故ニ様  
留リ・久斯過シテ三魚臍・地名故ニ上吐下瀉・榮衛  
微・流通セス津液セリ・危故ト一時半時間・ラソロレ  
マゼ同アキヘリ而ノ色ソレニ至レ・脾心微沉ナリ・吐瀉色ノ  
アタ・ノヨ直クヘモアタ・ノヨ  
温中既濟湯 束中 走子 費大 白本 汗令 中 生姜ナ

走子・汗令・中・生姜ナ  
束中・既濟湯・白本・汗令・中・生姜ナ  
生姜ナ

一 本寒熱・寒熱・束中・既濟湯・白本・汗令・中・生姜ナ  
束中・既濟湯・白本・汗令・中・生姜ナ

大霍乱ハカラトヒシタレシハ治シヤスシ因ルニケラ押察リ食  
 部白ア還クイシトハ食部退ケル四日ノ内、先生シ陰陽舛  
 降シ氣出来テ草創モノタル故、療治シヤス。土  
 乾嘔シト中スハ中食ノ正氣走リ虚スルニ消シヤリモキ生冷  
 飲食リまゝ食ヲ消セス其モ、中食ニウカヘテ上下升降  
 フマフクテ飯、此ノ吐逆スルフリウスレモ口邊セスレサリカ  
 ワヤ行ニ落セサシハ一大豆の燒鹽ヲヨク入メル盐湯ヨリ各  
 ヒテ鳥卵子四個ノ完熟サシムハ吐逆スルモ心ヨクナリト  
 呕逆タクアヘテ中也方温半既濟湯ノ數ヲ呑セヨ若病勢  
 甚シトナリトナリシハ火氣也相火ノ火氣也相火ノ火氣也相火  
 有ト法、火上加此養生ノ脉モ力出未だ吐逆、其心之體  
 成ナヨリ、南主白本ノ敷多用(ヤラズ)  
 丹参養胃湯 貢ナ 丹参 大全ナ 葛根ナ 草豆  
 花火燒湯セハ 什物 闇 フタマシト加ヨ  
 石轉蘿葛ノキ足ノ指ヌクシ仲カヘテナラスハ足ノ蹠トリ  
 カノニシ中リ七壯姿セヨ  
 霍乱、藥治ノ二日三日向ハ食復ヲタブムトスベカラ  
 治シリナツアヘ鉛ナイカニモサウ、用ヒ早食豆チハ  
 ヤニカヘジ股ライカルモノナリ

治愈

折井節生冷飲食過

一 著ト高バ驚かシ寒度解田ヨリナテ折井節生冷飲食過  
食ノ吐逆し下ノ津渡モ身ナメクヌ寒衝ニ戰  
ツル故、一時ノ間、ラソロシク瘦テ目モナナヘ也

トコソジ驚キハシテ脉ハ細、沈ムヘ

一 吐逆シケウハアツ湯ナテ脉ノドリアラフヘシモクナ  
ホハ桃葉ヨセモラ葉ノアヒヤ脉ヲ洗ミ心主ニ師  
カ脉カソカルヘシ

一 温中湯 千辛ニ貴ニ白本木伏神生姜

知悉ニ空ニ手足冷テ腹痛ニハ人多キ本丸ト來

一 附子 千辛ニ加ニヨ

一 露氣吐浮スルハヨレ留日ト氣ハヤク減、ツト故ナリ露氣  
ハ體中ニ消レカ至ニ物ヲ多リ下ノ解田ヨリヤフルホト  
知シ病ニヨクノ吐逆シタケモセミ下シタヒニトス

一 ニニ益各ニ鳥ノ羽ヲ嚼テセリテ吐逆サセテ前ノ

一 溫中湯ヲ合セヨ 痛痛ツヨクナリ 入テ少々ノ胸  
中ノ蘇ヘ今其上ナテ紅古社をセラ氣無ノ元法

一 亦其後脉セナラリ心ヨクハ養田湯

大

一  
伏人白木赤木大亮  
一

卷之三

一  
查被散，向一金客，他甚人。

一 漢文九十九

香葉散ヨリ 葉 + 韭 + 白蘿蔔 + 桃仁

卷之三

卷之三

霍山解寶力哈烏拉依ナホル起ルナリト。ハシマニ

人也。故其子曰：「吾父之教我，比之如司馬遷著《史記》，無以過之。」

卷之三

卷之三

アテキノ葉大葉ノ葉木番九十九

一乾壇主。子人也。子周

ナ立頭痛アリ血ヲホストアリ

平生詩集

卷之三

古文  
高  
論

歐陽文忠公集

乳癌十、亨、標識、十

卷之三

前  
甚

卷之三

アラウトノ街

清華大學圖書館藏

萬根中  
卷之三

卷之三

見舍其道

卷之三

齊々生々其其疾逐上上滿ノアタリニカツワリトニシテ

或以大之，或以小之，大則宜小，小則宜大。

駕詩序

卷之三

卷之三

人うそり春風に心音テモク病ニ愈ヒタルヨヤテサルハ此風ト  
申テ、長ク効レ血ノ通リ通シ病ヲ退ケ風ヲサル(レ)

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

小便量、赤々、伏木通ヲ加ヨ。サリ、火薑、赤ゼヨ。ト  
通テ、シテモ風引コト、以病セハ質ノ同墨ヲ失テ  
シクイノハナノ所、五寸アヘナ全ミシ。鰐會ト云。

活套

頭痛、體凡ハ皆同キニ心肺ノ壊シト知ヘシ。生ハ此病、  
モタニ風寒ト引ラ寒ニヤフニ天日・ラヤサレ像、數病  
事、ナリカウベイタニ心肺ノ脈浮シハヤリ风ライヤナリ。頭  
痛六太陽ト云。川芎、白芷、桂枝、芍藥、石蠶用  
脉ヲキナ鼻アナナリ。明カテヤ胸ナトリ大便通、小便苦  
難、熱、渴、口干、舌苔、口渴、半身不遂、半身不仁、生毒、入火人直ナリ。

天氣リ而ノ日風ナシ、病復更テ續ハヨキ茶ヲ呑セリ

一血ヲ補ヘシ少物湯、如藏ノヨレ

一番ソン、防風壳

竹茹、生姜、半夏ナト加テ

一葛

石膏、亨、白芷、蒼、細辛、宜

用ヨ

頭痛、色ニ在リ、赤、瘡、火、熱、半タル人白物

卷下ノトアモ春ニメ、朱カニ、紅ヘアカリニ、痛、熱、物、青、火、

カラマリ勝トテ様、アムモアリ走ラハカ一ト越後生ラ  
合山勝事、水ロキ吉湯ニ用ヨクルシロ侍  
一頭ノ九ハ天、カタトル空ハマルス物大方骨肉虚一人ウル  
地トテ上地、下冷ナリ又風ニアクリナケ様、ナルナリ利  
タコロケ胸ヲサニシ風リナラレ血ヲアミノトモナシ下  
疼タラナシ

即ナ

五郎、帝ハ風寒依テ節ハ見活湯ナアヌソニ行フ出

三種風ハ虚冷ナリ 芳酸湯

アヒ病スルハ風寒無能ナリオカニ活ラシ大熱、固  
知世、苦胡リノ

一唐寒、依テ創痛セヘ、山故来葉ホハカキ葉又ル  
止ハラナク 基外創風、有リ

一中風、頭痛ハは熱ニ、玉丹テ下ノ宝丹妙ナリ

一折癆ノ頭痛ハ冷シ、毛活湯 芳汗湯 四病

、膏、膏門 十六

大帝掌ノ生エビナ種ノ用百或ヘ因ヤ、ヨクス丸

モヒヤタニ、寒血薄リカニシテ次第、肉膏せ腰症

、膏、膏門 十六

故に甲したる急者ト何トヤシノヨコロラス  
禁レハ次第モ

用取ホウクノ後、ハトマリ物ノ肉虚煩メキ足トキシ禁  
用取ホウクノ後、ハトマリ物ノ肉虚煩メキ足トキシ禁

上氣レホウサキ一者クリアル。

日本武道書ト遇ニ有木林

腰イタシ夜中、小便シケリ前半腰モキテ後、腰軟弱ノ次第  
不食ノ苦憊トナル物シ或ハ氣体虛弱ナル人スケテ瘧  
アリ不喫ナル葉ヲ多モヒキリ葉ニテ腰半日ラ横モ  
表玉ナ發散テシ過し冷汗ナテ裡熱ヲオヤシ過しテ  
瘧ハラキナニ次第、ヤセ五行外熱アケテ、苦憊トヒ  
久ハ心虚ナ肺肉ラヌキ人タモ夙寒、アメレヒ喧氣レシ  
二度ハ苦シカう子モヒセリユレハイヨムト、波ウセテ終  
胸苦レク息タクレクナリ胸中、痛リカヘ波差、肺アテ  
レスカリトコノク癪多イテ後ハノニマシシ腰湯細ノカ  
モニハ表ノ守護エル氣ノ虛レタル人ヲ發散ノシホナ  
表ノ元氣ヲウカシタル腰痛ナリナラルヲナ  
種々の食別アリトミ、トモニヨリ汗ナ、血液少ニ表散ア  
レ過レテ津液ウキ肩背シ巡メ腎虛し波涼カキ皆ナ  
一身ノヨハキラウルラヌト事一、肝田ロヲ建ミレ發食  
火ノ胃ノサカシノ量術ノ生スルヤク、又ルアモニ

シテユウヘニ三十 店舗又ナシルトモ所要ノ屋敷地ノ補  
某年某鳥等ナリモニシムヘシ此妻ヲ用ヒ相大恩ナシ  
中ナ熱ナリヤナリイヨクケルヨイツキテ先朝ナカニシ

卷二

龍ノ股細弦六七節七七八  
神龜益毫清

六十六  
右ノ屬ノ柄ノ若ニ熱煩邑ノ人  
加シ 燥渴ノ呑物ヲホレカトノ  
又右ノ脈虛弱ノサシ節段モナリ足手冰ノ如ク冷ハ  
沾東益胃湯 三升 半升并半升本半正丸生  
今ノ上トセテヤラヨレ

卷之三

一セイ お前 ひらく 嘘う ノモヤレ面ワノミ 里ノナキモ  
起テ出エタ様ハアノ屋敷ニ

卷之三

卷之三

三九三百壯之三十六年  
歲在己未

後、春丸太、吉田の牛込マウ、ノル、斯ム。

桃仁主皮  
兵神推九  
腎之合色  
虎符  
皂角主皮毛

卷之三

卷之四

右城ホノ飯分せ九 桃柳枝葉ノ煎大計テ一 杏セヨ

苦參ノ根ラスノサホナリ

活血

一 腹癰ト云ハモニノ病ノラモキラニシ色レアリヒキノヨハ  
ナ人ニ冒ウシテシテル特風、アタリホニテ霍乱ラシ  
ヨコヘ下ニシレモ、瘧フヤシアヌハヌサミラ奉ニ、  
アシヤ食ヲ用テ腹ヲ損サシ血積ヲ去シ脹滿シ居古ス  
ラ好ニ宿日ヲヤフリ、思恋ノシキル尽ノアソロレモ主人  
君、アロヘ長痛リ重損サシ後ニ凶猫ノ眼ノ様ニキハミ  
丸ツカヘ、並痛トテ余リ矣れラシノ吉ニウヤオ居レズ足  
ニ、脛痛ニ變ニ湯失ラ細シノ物カヌレシ高相メ考フニ  
シテモク腰イヌシニ、トラウノ心ホレレ履白物立リテ、  
アルシ眼ナヌニ服アレタ烟ナリ血アシリ、疾多ライフ胸  
アチルシイツモカレハレヤカナヌ、腹中ニカムカリク物、  
ルヘシ四種或六種九十九種トテ、肩癰ハ色モノ病ノ  
アヌ殊ラハ詰シタシ病加孫、名ケシ五花六肩遍  
サルシ、五花ア補ヘハナラルナリ、廿白血、赤血モセ疊ラ  
ス、青筋酒

一 胃瘻ノ譯 通腹水ノ尺ニタル故、熱傳心耳ノ益  
 壓ノ故、熱スルト如シ血アテスサホリ、真ナク、  
 治ルン、辰砂ニ用ヘシ血ヲテスサホリ、飯一升  
 一 宝丹ノ生スレヒ、種々、固、一キ、日之、記サス  
 故、其大圓ヲムク四カ走ク、ラス旁瘻ト云ハ、每通  
 煙ナリ、熱ノ血ヘル故、也里、瘦テ數取出ル、体熱、  
 依テ、血カ生スルナリ、壯年ノ血ノ通ノ類ハ後、帝瘻、  
 亦、老人ノ血ノ通ハ、許ヲテナルト心ヘ  
 一 宝丹ヲ用、肉熱ヲサマレ、魚ヲコロスヘ  
 一 魚子、大根、火薑、用、火丸、甘草、一合  
 一 血アテエサハ、治ルン、辰砂也、及半升トす  
 一 热ノ血ト心、止テ寒、血コロス、莫ア用ヘレ  
 一 加減大二九、大經大、告辛、雷丸、金全子大  
 マクリニテ、青木希、雄莖、硫黃、岐合  
 山茱萸、草大、皂角大、石丸用ヘ  
 一 宝丹ヨク、胃瘻ヲ治ス、和漢古今ノ、案方、名医  
 通、胃瘻、論、此治方、見、治、胃瘻水ノ虚ト云  
 乃、レ、去、心口、全丸、少、茶ナリ、夏德本、妙サ

ノ第ニスナル者 宝丹ノ妙ラ知ヘカラス

### 十七 中風門

史中風ノ人 年々カナハス日ロキニカニニキリリ皮膚  
病ガシル身医ラホハスヘ經略ニル中風ニシテ通レノ血ヲ

ヤシナフ革ラ用ヘシ行し下ヌベカラス

養榮通氣湯 白本 + 白後令 + 貴十介 + 桂芍子  
等 + 此類ノ葉ヲ二七日モ三七日モ用テ其次、五日三百風

葉ヲ用ヘ」秦艽 + 穗 + 獬大 + 蒜奇

ナテ時ニ中風ハ年足十ヘスクニ用ヒタス脉浮ノ風

筋骨痺痛ノ病ハ大風也。此風也。已ノ後之日  
右此風ノ葉ヲ二日二日用テ又養榮通氣湯ヲ用ヘシ  
ナテ腰入タル中風ハ色トマリノ物イワス草トナリ。真寒寒  
目シテクヨムタレラシテ大便秘結ス

ルセ有ナリ。全ハ大臣ナリ。去リヤラブ。脈虛運丸合治レ  
ハスレ脈榮急也ノハヤシナラス。考モ至宝丹ヲ用テ疾

養榮通氣湯ヲ用ニヘシ。行之

右此風ノ葉ヲ用テ一兩日メ大便通し病才止ルタナリ

養榮通氣湯ヲ用ニヘシ。行之

六  
卷

所詮経絡、毛汗に血ヲヤレシと氣ヲ通シ脚に元時  
當故ノ邪ヲヤリ其次に血ヲヤレシと氣ヲ通シ腕に時  
外 実ニテ裡ヲヤソ大便衛通ノ其次に血ヲヤレシ  
氣ヲ運スナリ平章風邪ノ者歟見ジリ風邪、運  
テセ血ヲヤレシこと氣ヲ運セナヘ本伎レカクシノヤハニ通ラ  
ビ」ナシルヲ運スモ表裡ヲキ、風邪ヲヤラシナムキラ  
シナリ平章風ニモ走ナフハ瘀血血虛ト心正血サホラ本  
ノ氣葉ヲタヌヨモトト

壬午年十一月廿一赤道ノ桃太紅毛十載ノ伏  
病者也脚氣也年少也脚氣也年少也脚氣也年少也  
赤道ノ者、伏ニ廿一以上如此經ト蟲ト腐ト丸  
石トノ分別メ治シナラ事上、諸ノ標証ヲウキテ、加ウシタリ  
可ナリ

全經絡、凡入テ同口ニヤムハ

體會ハ車ノスコレ術ノクホシワナリ聞えイヨクク本ム  
地食火口脇、胞右ノ四合ツノノケテクホノル久ナリ  
「尤ノ古木名ナシ社ア左ノ十一社ア多美ス右ノエカムハ  
テノミナシ社ア矣モヘシ

卷之二

卷之八

百會穴屬督脈  
主頭痛目赤  
耳聾瘧疾癲癇

齋鶴は育リハシ西ノ育ノ道アリ。ナニ  
ナリ。曲池ヒミナラカ。キレハノトレナリ。

風土中ハソトモニアリスリミテテ兩キラタレ下ノタナリ  
ヨ指ノト、ク丸ノ大筋ノ間ノミソナリ

達ノ三重ハニサル下ニナリテ、而スモノ貴シト外ハ大竹郡  
内里ニリ。然ニ其ノ城ノ名也。此ノ城ノ名也。此ノ城ノ名也。

風流は金ノクホノカミノハ（キハ、喜）ノ有まつた者  
ニセアノケテヨリハ（十八十）勝狂ノ行也ト  
ト太極ノ不全ノ

雀井の鉢盒ノ上肩ノ肉ノ上大ササニ

雨の事、固ナリ。今門ノ轍ノニテ、處モ  
以上セ。夜ノ時、心風心タクタク九竜澤ル。三九古川二  
十日、御宿ノセ。性王、之をスヘシ。

七  
七

活全  
風ハ百病ノ長タリト云テ「百ノ病」皆風ヨリ起シ也  
風ヲ引キ故ニ或ノヨリノ半足スクミナテ赤眼ツリビ  
フルヘ人ラレラス古ニハク物・チドロキ・半刃叶ス液シテ  
ツクニ本食レ胸・虫有ニ腰痛・腋上部ツキヤニシキ  
シクタビレヨリ起ルニ生ハニ九クナチレ胸ノ班ニレサニシ  
ケタモトヨリ之ノ合ラシムニメカ御ノハ風ヨリレツ

一 鳥禁煙氣散 里中一切中風は身向化車子  
アリキ足ナラニ煙ニ叶矣物云トカナワヌヨキ(シ)

祐巳大空十  
喜々 杏中  
鳥樂小  
音良  
耳ウ 右葉明  
益

一 小鏡金湯 幸ヨレタカワズ 口ナユカキノ目ヨリ吉  
スリ物ノハシニクレヲホヘミ映ウキテハヤレ 壬  
ト 滅度ト 防風木 本ナサノ 杏中 金ナ草ト  
吉右進メアリエベシレゲく用 大鏡金湯 脈ノ  
大鏡金湯 脈ノ

物語心事入力

針灸取氣穴下耳鼻口鼻生寒

舌苔白黃用之

寒風寒心寒用白芍葛根

白芍頭皮散之

中風中寒用麻風湯一切ヨレ

葛根大黃大

前半壳半爻右前寒用

久寒ヨレ證拿渴之症前已年杏

青節痺公木丸

中風寒血通藥之行之得之

天頭痛之風寒之候但乃病寒邪門了

改善之中風一切ヨレ今大黃大

石獨子吉更之等前耳刺等赤者名頭則

中風ノ根甚者青ノヤニ頭痛之色頭又人有之

口瘡等アノアノ人白物廿卦

頭部即半身不遂之候後白物用之

中風之寒熱ヨリ血液カラキ色サマニノ頭

寒風寒寒通下元寒及血通

カナリ難たり經路脇脳耳中風ノ尤ハ血右ニ氣左

カナリ難たり經路脇脳耳中風ノ尤ハ血右ニ氣左

ガラス

内熱ササマスレ

一 血ノ道ノ熱ラサマメ血ヲ生スルハ活る散 展散散

時、芒刺湯ヲ薦テ用ノ血ヲ生スベレ

一 中風・暈転通・極々ノナアリニテ宝丹ニテ肉丸ヲ

サバサマセハ詣証自全ナカルトセ

一 十八心氣門ノトコトナカセシ

丈人ハレマレトテ父母ノ立リ或シ暗血相混此ノタキト成

高クニシ御病ノアレムノシテ其體ノ病也。其體ノ病也。其體ノ病也。

故特ラ尼骨トヒテ一血ヲ失ルホレヤシナフ役ウ生ル陽氣ハ

ハ筋骨ト成テ一身ヲアタシナカル役ヲ主ル其體殊湯ノモ

固ニ一主人ニアリ是ニテ神ト名ワケラニルトニ此神氣上

テ、身障レ百法ヲ行レテ變万化ノキトナリ一切ノ至

リタカラヌトス。ナレニ五ナヤラソ物無良無体シ奉病命

失神則ハツタルト改。古人ノよえヲアレムトニ至室ノソセ

ワア如エ鍼ヲ差入ハカラト。脛ヲタチナフ上氣ヲ逆工セシノ

如ナリ。又リ醫家アレルトスエリナシ逆上セシノ寒ニシニ

ノ



以上夢れ脱レ正氣主因ノ氣滅換レ下血トシテ脱ラ  
此補スル茎アリミナフ寸圍尺ノ脳強弱ヲワキマツリハ  
ノ頭アセテシナ候、茎アヤテカクシテ茎若シ補中湯  
ノ血也得ム、アタヘ

故立日十九

ト六割人如我すれし補え、キラ若セ過大胸中、シテ  
トモア、身タクレタル脚、モ死ナホ素ノニ便モ心ヨウラス  
ル心誠、一大夏。

矣五指一寸ノ金法後、アリ

活套

一人ノ坐ル、ツハ又母ノマレハリニ陰ヤナルシ、其擅冊五  
歳、ヘテ九月ノ間ヲヘテ留ノ氣ノヤレナイ。ヨウナミハ  
シテ、リ其陰ト陽トカ尤右ノ以月ナリ、一身ヲウルホレヤン  
イクナシテ、上ルノ事、既ムトナリトナリ。トナリアヌ、ノ  
其腰ノ腰ノ、ナニ神アフテ、イロクノ、御行也。  
リテ、エルシ其神ヲ、ヒキトニナリ、ヒノ腎命門ノ神氣也  
ト。上ト、体リ、ドリ一詔ヲサトリ、急行スルナリ、其ノ氣ノ  
魚、エヌナシ、ネト、云々見知リカシレ、中ヲ見レ候ニ、ス  
タヒニ、ヒナナリ。古人ノ曰、氣リナシムト、空ヨリナア、空レ  
ト云々、リ更アハ如ニ、常、人ハタノトモ、服ニ空ト、赤ヨナ  
シテ、一旦、氣ヲ、ぞし、ヒツムヌホウレ、後、ハ、氣ノ、痛トナス  
ト。テ、生有病者、ヒナノシ、病、セナラス、サハシノトモ、

新ウドヘハヌ御ラニルノヨサホハ浮トシ御アリ細ヒ備

坐退スハ金樓ヲハノソクヘレ  
サミハ樓裏門アリ  
シテイチハ  
久ナ主ナ  
赤ウナ  
舟广ナ  
上賓文ナ  
食スオヌハ  
牌田日門アサモア  
友ヨ  
シテ  
金樓書  
志ヒレ下部タイン久  
以月クアミニシカ  
シテ

卷之三

アーノラードアハルト、立指ノアラトリ、ホロノワラ  
ス（アホタケ、レムスニ名ノマレシ其ト、ク外サキ  
中ヨツワキ一寸？ 三多ス

三十六

降氣湯  
えラハヌ  
サホ

平定貴安門

耳學考略

本草綱目 卷之二

多量偏半波上火上水一  
日水氣人體半身之病一  
日水氣人體半身之病一

卷之三

萬葉集

十九  
卷

心に人婦人ノ血道ト因テ病不虚治ア故也  
サマノハシル清寒ハ血處ヲ熱ス是心上ニ宣導始  
ク肚臍ノ血ノ煩後ニ常無モナル左ニ及テ血道ノ煩  
中風ノナニト互ヘシ熱アリハ虚再ラキニ用テ内熱ア  
サマレガタキナチ血ヲアヌメノテ血ヲ生レ  
治石ノ辰砂ノ毛ヨア血ヲ生ス血ヲコロス大ル丸ア

ニ失常ト成テ脈中フナリシ氣ハ衛ト成テ脈外ラノケル此  
本衛ハナム太ニ足ノ脈通ク脛腹百刻ノ間ニナ逐流行  
ナリ亦即ちヨリ生出スル津液也暈衛ニシテ一身ノ内  
外並齊齊脇程ヲケル本主物ナリ名氣塞リ障ルトキニ  
津液ミツカヘトコホルニ然モ股流スルトキハ疾飲ノ病レ  
道ト名也ノ身ヲウムオスケシツカヘテ薄レ時ハ  
疾飲トニシテ

小中  
寒天アリ寒病アリ冷病アリ熱病アリ

張慈口氣  
寒氣アリ

蝶貴蕉

麻洛清人  
寒氣トス

壳兵空

肺通清氣人  
冷病トス

生喜貴白木

肺潤氣人  
熱病トス

室蝶西青雀

肺腫虛ノ津液カウキ病子ハス

麥門桔

肺中ノ邪氣溫上ノ經大過ノ病少人

半夏桂南星

白朮

風邪アタリ發胸悶逆回せハ

南星貴

久病虛火上昇ノ津液憊ト化之血虛及於面皮

白朮

半夏桂南星

虚人不食ノヤセ中並病有テ閑脉消左ノハ病ヲ退クレ  
茶ヲ用テ吐スゼノテ病中食ノウルホド取アフルカヘシ  
モセハイヨミ虚ノツヨクヤニル物也

勘牛

一  
共飲トミハ一身ノ津液カ冷クレハ冰ノ如クカクアヒ  
タリナクレハ鈍糖ノ如葉レタタノラル、物ナリ寒熱既ト大忌シ  
モハ體中肥人ノ寒火温シ冷火瘦人ノ熱火熱之危  
ハ極其實也トシ諸ノ病ノ治タル妙藥アリ王丹ト云

王丹ト云

莫常感之寒氣本大而冷大熱者非用  
病者過熟之氣生火有火氣者其故也熟火  
アシナガスレハ病ノ病ニ自ナラル物ナリ

一 热し色赤ハ室丹 大豆九 莫常中寒冷え病

室丹亦大熱ノルキ 草

## 二十 喘急門

肺ハ五臟之上居テ呼吸出入ノ氣タリ清虛好物  
セハノル、トヨキラフ至上ノ大邪。十時ハ肺中ノオルニ氣多  
體ノ中候熱タリ天王ノ大邪。十時ハ肺中ノオルニ氣多  
風寒暑濕ノ外邪。肺中入肺ノ呼吸ノ道也。肺主氣也。故  
ナリ呼吸主之也。氣之逆也故中焦熱有冒大  
脊上ノ喘也ハ石膏

下焦ノ陰虛ノ證火小腹ノ下ヨリラヨリ上喘せバ

肺西丸 木香

肺通酒

指痛、嘔惡、人起ナル時、鼻生火大、肺寒、傳火  
正氣タクタク火氣ヲ發フセヨリ

火酒、酸湯

支門立人丸

室丹

火膏

年、火膏、火酒

峰肺俞上推風門ノ穴セヨ第二ノ推ノつし下た右合

峰肺俞上推風門ノ穴セヨ第三ノ推ノつし下た右合

三里ツ木社す壯全ノ道上ノ大師ヲモニセ體中禁全ノ

九ナシ尾端ノ治ヘ五セ社矣スルトラニルス

瘡病ノ喘促已起リタル時ノ療治筋ナリ病ヲナス郭氣ノ  
極体像テ是ヲ退散ノ風寒ノ肺アタルヲハ發散セヨガシ  
邪逼上セハ又ト降し陰ウニスケヨ

寒頭ノ退クルニテ一熱黃ノ火加熱加熱

逆火ノ退クルニテ一危火ノ火加熱加熱

陰火ノ退クルニテ一素火ノ火加熱加熱

蘭安ニシテ養生肺陰ノ延れヲタスケ起リタルトキハ

邪氣ヲ退ルナリ

### 活食

肺火上盛ノ上サテ自ウトキ入テアルフクロナリ肺ノ穴ヨキ

ノコトノヒバニアル、アラバイヤタル胸、大熱者ヲ熱入ヘ

タクイアカルモ胸、熱ナキ時ヘ自心ノ力ヨニスラムトサハモナラシ

ノテ物熱、咽津飲カラセリヌベ声モトレナ急ヌタク

ノテ物熱、咽津飲カラセリヌベ声モトレナ急ヌタク

ノテ物熱、咽津飲カラセリヌベ声モトレナ急ヌタク

引後ハ喘息スル。右葉ハ胸ノ火邪、散しれテモ、痛ラソロイ。通し服中、ナリナキヤウ、スレ疾有サセ。

一 上焦・熱有テ、日ニ熱有テ、胸又テ、火。

石膏大

寒水石

亦下焦ノ胃氣也レテ、熱ノ病飲咽、アラハ

一 穀火、火、三物マ相合、一物也。

火

火

火

火

火

火

火

火

火

知半

一 嘴急ハ風ヨリアカル脉ハ浮シ、葉ハ風詫門、ナモトニレ

一 痰寒ハ心肺ノ寒熱ハ室丹・テ、肉丸ハ火也(レ病也)、火  
ナモ丹ヲ用テ、下スベレ、サハ中寒耳、葉丸、葉ハ三  
黄、ゼ硝、右膏アガテヨレ、亦帝、大ヒ九ヲ用テ、  
峰ノ膏アガテ、酒ヲ用

通す者ヘレ

千葉堂自喜教定家藏

